

序言

『言語と文明』第13巻が刊行の運びとなりました。本誌は言語教育研究科の学術研究誌として2003年に刊行され、以来、日本語教育学専攻、比較文明文化専攻、英語教育専攻に属する教員、院生の研究成果発表の場となっています。

本年度は言語教育研究科博士課程（後期）の院生1名に課程博士の学位が、また博士課程（前期）・修士課程の院生15名に修士の学位が授与されました。本巻には、博士候補生による投稿のみならず、修士論文をさらに深化させた3名の論文も含まれています。本年度の院生の活発な研究活動の成果が表れていることを喜ぶとともに、ここに掲載された論文が内外の研究者に活用されることを願うものです。

今年度をもって定年退職される比較文明文化専攻の石塚茂清教授〔前・研究科長〕（比較文化学原論、比較文学研究等を担当）、岩佐信道教授（比較倫理研究等を担当）には、長年にわたり、数多くの院生にきめ細やかなご指導をしていただき、また研究科の運営にも多大な貢献をしていただきました。ここに厚く御礼申し上げ、今後のますますのご健勝と研究のご発展をお祈りします。

2015年（平成27年）3月

言語教育研究科長 黒 須 里 美